

定期報告（ウルグアイ内政・外交・経済：2026年3月）

2026年3月の内政・外交・経済の主な動きについて以下のとおり報告する。

【ポイント】

<内政>

- 2日、オルシ大統領は議会で施政方針演説を行った。
- 26日、オルシ大統領はネグロ内務大臣同席の下、国家安全保障計画を発表した。

<外交>

- 4日、ウルグアイとニュージーランドは外相会談を実施し共同声明を発表した。
- 14日、ウルグアイはCELAC議長国に就任した。

<経済>

- 24日、中央銀行は2025年のGDP成長率を1.8%に下方修正した。
- 3月までに発表された主な経済指標及び貿易統計。特記事項無し。

【本文】

1 内政

（1）オルシ大統領の施政方針演説

2日、オルシ大統領は議会において政権1年目の成果報告を含む施政方針演説を行い、政府の方向性を確認した。5か年予算の成立や、税制調整を通じた財政基盤の強化、輸出及び雇用の拡大、地方交付金の拡大、医薬品・医療アクセス改善等を成果として挙げた一方、法的・制度的安定性、民主主義、法の尊重、多国間主義を重視し、社会的包摂及び富の分配を伴う経済発展を目指すと強調した。また、児童支援、路上生活者対策、社会保障改革を推進する意向を述べ、国民の最大の関心である治安対策に関し、警察職員の大幅増員や、横断的な麻薬組織犯罪対策システムの強化、刑務所施設改革などを発表した。また、司法・人権省創設に関する法案及び刑事訴訟法改正法案を議会に提出すると発表。また、外交分野では、本年、ウルグアイはCELAC、G77、メルコスール、ブラジリア合意（当館注：南米12か国が参加する協力・合意調整メカニズム。）といった多国間枠組みで議長国を務める重要性を強調し、また、先月批准したEUメルコスールFTA、加盟交渉中のCPTPPなどに言及しつつ、海外市場の拡大を目指すための外交政策の前進を力説した。

（2）国家安全保障計画の発表

26日、オルシ大統領はネグロ内務大臣同席の下、具体的な行動計画、措置、法制度改革を含む包括的な治安対策の柱となる「国家安全保障計画」を発表した。主要な対策として、犯罪発生率の高い地域における重点的なパトロールを通じた暴力の抑止、麻薬密売ネットワークの解体、サイバー犯罪とコンピュータ詐欺対策、性暴力及び児童・青少年に対する暴力抑止、銃器・弾薬の管理規制強化、刑事司法制度改革、犯罪予防システムの構築などが挙げられた。事後的な取締り強化だけでなく、

犯罪予防及び社会的支援を重視し、児童・青少年に対する早期予防や出所後の社会復帰支援、医療・教育・地域・デジタル分野を含めた横断的な対応を目指す。野党は「新規性や具体性に欠け、目標・期限・責任者が不明確」との批判があった一方、専門家等は、概念的・制度設計としては国際基準に沿うと評価しつつ、実行体制、資金、期限設定の不十分さに課題があると指摘した。

2 外交

(1) ウルグアイ・NZ外相会談・共同声明発表

4日、ルベッキン外相は、ウルグアイを訪問中のピーターズ・ニュージーランド外相と外相会談を行い、双方は、持続可能な農牧水産業、科学外交、デジタル政府、環境等の戦略的分野における協力深化に合意した。両国は価値を共有し、多国間主義、民主主義、人権、開放性に関するビジョンを共有する小規模で開かれた民主主義国家であり、自然なパートナーであると述べ、国際法及び国際人道法の尊重が世界の平和と安全保障の基礎的要素であることを再確認した。双方は、二国間関係に関する共同声明の他、南極協力に関する共同声明を発表した。

(2) ウルグアイの CELAC 議長国就任

21日、オルシ大統領は、コロンビアで開催された第10回 CELAC 首脳会合に出席し、議長国に就任した。同大統領は、地域共通の課題である食料安全保障、エネルギー転換、自然災害危機管理、高等教育、生産及びビジネス発展のための協力を推進するために CELAC の枠組みを強化したい旨述べ、また、国際犯罪組織対策を大陸全体の課題と位置付け、治安協力の必要性を強調した。一方、年末に予定される国連事務総長選挙に向けて、戦略的な合意形成を通じて CELAC 出身の候補者を選出する重要性を述べた（当館注：現時点で、ブラジル及びメキシコが支持するバチエレ・チリ元大統領、コスタリカ元副大統領のグリンスパン国連貿易開発会議（UNCTAD）事務局長、アルゼンチン外交官のグロッシ国際原子力機関（IAEA）事務局長が立候補を表明している。）。また、同日、CELAC・アフリカ・ハイレベル会合が開催され、オルシ大統領は、CELAC とアフリカ連合との関係深化の意向を表明した。

3 経済

(1) 経済成長率の下方修正

24日にウルグアイ中央銀行が発表した国民経済報告書によると、2025年の経済成長率は1.8%となり、5か年予算に盛り込まれた同推定値の2.6%を大きく下回る結果となった。燃料・セメント・アルコール公社（ANCAP）の石油精製施設の再稼働、また、食肉加工業や乳業等を始めとする食品産業、商業活動、外食産業・食品飲料小売り業の活性化で成長が下支えされた反面、道路工事及び電気回線工事関連事業の減少で建設部門が縮小した他、再生エネルギー発電の減少によるエネルギー部門の縮小（当館注：電力のほぼ100%が風力及び水力を始めとする再生可能エネルギーで賄われており、余剰電力を近隣諸国に輸出している。）により、前年比で

経済成長が減速する結果となった。（当館注：2024年の経済成長率は3.3%）。更に、国際情勢の悪化に加え、2025年後半の経済成長が特に低調だったことから、2026年の経済成長率も現在の推定値である2.2%から下方修正される可能性が高い。エコノミストらは1.5%~2%と予測しており、オドネ経済財務大臣は、推測値の再試算が予定されていると述べた。また、同大臣は、中東情勢の影響について慎重な姿勢を保ちつつも「ウルグアイの低いインフレ率（約3%）や低コストでの資金調達を可能にする低いカントリーリスクは、不測の事態に備える上で極めて重要だ」と述べ、堅固なウルグアイ経済への確信を強調した。

（2）主な経済指標及び貿易統計

主な経済指標

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
消費者物価指数(%)	4.32	4.09	3.65	3.46	3.11	2.94
失業率(%)	7.3	7.3	7.0	7.4	7.4	7.8
平均賃金指数(%)	5.58	5.94	5.99	5.24	5.22	5.34
対ドル為替(ペソ)(平均)	39.923	39.724	39.149	38.439	38.567	40.358
新車売上台数(台)	7,039	6,483	6,965	5,505	5,861	6,657

出所：国家統計院（INE）、ウルグアイ自動車販売協会（ACAU）

消費者物価指数

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体	4.32	4.09	3.65	3.46	3.11	2.94
食品・ノンアルコール飲料	5.16	5.19	4.47	4.66	4.32	2.43
アルコール飲料・タバコ	4.08	3.95	4.11	3.8	3.74	3.7
衣服・靴	-1.41	-2.2	-2.64	-3.34	-3.86	-4.33
住宅	4.14	4.12	4.13	5.37	4.01	3.99
家具・家庭用品	2.12	2	1.38	0.91	1.01	1.5
保健	4.86	5.39	5.37	6.3	5.64	5.69
運輸	0.73	-0.33	-1.43	-3.48	-3.58	-2.2
通信	4.66	4.81	4.74	3.39	3.53	3.76
娯楽・文化	5.34	4.4	2.38	3	2.49	2.85
教育	6.92	6.91	6.94	7.13	5.85	6.43
レストラン・ホテル	6.86	6.46	6.59	6.05	6.28	7.08
保険・金融サービ	4.9	4.41	4.04	2.98	2.47	3.62
化粧品・医薬部外品等	4.6	4.69	5.33	5.05	5.74	4.96

出所：国家統計院（INE）

貿易統計

		10月	11月	12月	1月	2月	3月
輸出 (*)	額 (百万ドル)	773	760	747	691	759	758
	前年同月比 (%)	8	4	17	4	13	18
	1月からの累計 (百万ドル)	7,684	8,429	9,170	691	1,441	2,217
	前年同期比 (%)	11	11	11	4	9	13
輸出 (**)	額 (百万ドル)	1,089	1,057	1,100	995	1,025	1,127
	前年同月比 (%)	-6	2	17	9	9	7
	1月からの累計 (百万ドル)	11,356	12,398	13,493	995	1,989	3,158
	前年同期比 (%)	4	4	5	9	8	9

		10月	11月	12月	1月	2月	3月
輸入	額 (百万ドル)	1,065	1,007	1,039	872	849	1,146
	前年同月比 (%)	-2	2	8	0.1	-11	30
	1月からの累計 (百万ドル)	9,512	10,446	11,460	872	1,721	2,853
	前年同期比 (%)	7.9	6.5	6.2	0.1	-5.6	5.4

出所：貿易投資促進庁 (Uruguay XXI)

※毎月の輸出額及び同累計額は暫定値。(*) フリーゾーンからの輸出は除外。(**) フリーゾーンの輸出を含む。

(***) 石油及び派製品を含まない。

製造業指数 (%)

	9月	10月	11月	12月	1月	2月
全体	3.5	2.5	2.2	2.7	-1.5	1.0
食品	0.6	0.2	0.3	1.6	0.5	3.5
飲料	8.0	8.2	8.5	8.2	5.2	8.7
繊維製品	1.0	2.6	0.9	4.0	15.7	5.0
衣服	-4.4	-6.4	-8.2	-5.0	-25.5	-12.4
皮等	-19.0	-19.0	-19.2	-19.7	-1.6	-2.9
木材及び関連品	-4.0	-3.5	-2.7	-3.3	15.5	11.0
紙等	4.7	2.3	0.8	2.1	-2.3	1.0
製本	6.0	4.2	2.7	1.7	-13.9	-11.8
石油派製品等	90.3	67.3	58.9	50.6	-25.4	-12.2
化学品	-0.0	0.5	1.3	-1.6	30.7	20.7
医薬品	-0.8	-0.7	0.6	0.9	-8.3	7.2
皮・プラスチック製品	-5.7	-5.6	-6.3	-6.8	-12.2	-5.5
金属鉱物	5.0	5.5	3.6	2.6	-21.8	-13.5

礎金属	9.9	6.6	6.5	4.0	-8.4	-12.5
金属製品（機械を除く）	1.8	0.9	-1.0	-0.2	-17.2	-16.1
電子・情報・光学製品	19.3	14.3	11.0	15.0	4.1	-14.1
電子機器	2.7	3.5	5.0	5.4	-13.5	-23.9
機械・設備	0.7	6.0	8.3	11.5	-9.8	-26.6
自動車等	0.1	-5.3	-5.8	-6.1	1.6	-32.2
家具等	-4.5	-3.8	-3.2	-3.6	-10.3	-11.0
その他製造業	1.6	0.6	-1.0	-1.0	-13.5	-13.6
機械設備修理	-7.8	-7.0	-6.7	-7.0	-2.1	4.5

出所：国家統計院（INE）※3月分は未発表。

4 要人往来

（1）往訪

- ・ 4日：オルシ大統領、オドネ経済財務大臣のアルゼンチン訪問（米州機構貿易関連イベント）
- ・ 7日：マイア教育文化大臣のフランス訪問（二国間教育協力会合）
- ・ 10日、11日：オルシ大統領、ルベッキン外務大臣のチリ訪問（大統領就任式）
- ・ 11日：メノニ観光大臣の米国訪問（クルーズ船観光博覧会）
- ・ 12日：ルベッキン外務大臣のパラグアイ訪問（EUメルコスールFTA関連行事）
- ・ 12日～17日：パセイロ土地住宅整備大臣のチリ訪問（CELAC持続的開発フォーラム）
- ・ 20日～22日：オルシ大統領のコロンビア訪問（CELAC会合）
- ・ 20日～31日：ルベッキン外務大臣のコロンビア、イタリア、ベルギー訪問（CELAC会合、二国間会合等）
- ・ 23日：オルトウニョ環境大臣のスペイン訪問（環境気候イベロアメリカ閣僚会合）
- ・ 25日：カルドナ工業エネルギー鉱業大臣のブラジル訪問（エネルギー国際セミナー）

（2）来訪

- ・ 2日、3日：屈冬玉FAO事務局長
- ・ 4日：ピーターズ・ニュージランド外相